

静岡新聞

夕刊

2月16日(木)

〒422-8033
 静岡市駿河区登呂3-1-1
静岡新聞社
 電話(054)282-1111
 月決め2,900円 本体2,685円 消費税215円
 1部50円(消費税込み)
 ©静岡新聞社2017
 浜松総局 浜松市中区旭町11-1
 プレスタワー内
 電話(053)455-3355
 沼津市魚町1
 サンフロント内
 電話(055)962-0380



昨年3月に建て替え工事を完了した県営住宅東部団地。明るい印象の建物の周りには菜園や遊歩道が整備されている＝静岡市葵区瀬名

高度経済成長時代に全国で建設が相次いだ公営住宅団地が、老朽化のため建て替え時期を迎えている。独居高齢者の見守りにもつながる、入居者同士や地域との交流促進は大きな課題。県営住宅東部団地(静岡市葵区瀬名)は建て替え工事に伴い、入居者や近隣住民が集まるオープンスペースを整備した。これまでの公営団地のイメージを一新するデザインでも周りの注目を集め、公営住宅の新たな在り方を提案している。(社会部・大沼雄大)

県営団地 明るく開放的に



県営住宅今沢団地の建て替え後のイメージ図 (県提供)

パステルカラーの壁面、日照や風通しに配慮して高さを変えた棟、ミニトマトやブドウを育てる菜園、桜並木…。1968年から長年使用されてきた東部団地の一部建て替えは、2012年4月～16年3月に実施された。県が住まいづくりのコンセプトとして推奨している「交流促進」や「緑化空間創出」を取り入れて設計。団地に40年間住んでいる自治会長の上田良一さん(70)は、建て替え後の雰囲気の変わり様に驚いたという。

共同管理の花壇や菜園は住民有志が手入れし、

建て替え時期 迎え注目 東部(静岡)内外の交流拡大

入居者同士の会話のきっかけになった。桜並木や遊歩道、広場も整備され、近隣から園児や親子連れが散歩に訪れるなど住民と周囲との接点も増えたという。

た工事規模の一括発注により、従来よりも工事費は抑えられたという。同課は「街づくりの一つのモデルになれば」と期待する。

東部団地自治会によると、入居は321世帯(2月8日現在)。半分ほどが単身世帯で、そのほとんどが65歳以上。上田さんは「団地内外の人の出入りが活発になり、交流も見られるようになった」と歓迎する。

県営住宅今沢団地(沼津市今沢)でも、16年6月に同様の建て替え工事に着手した。20年7月に完成予定という。同課の青野直己課長(54)は団地の単身高齢者の割合が増加している現状を踏まえ、「公営住宅の建て替えの設計時に、単身高齢者と地域とのつながりをつくる視点は今後大切」と指摘する。

県営住宅課によると、設計・施工への民間活力の導入と、まとまっ